

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援センター藤沢市太陽の家しいの実学園

公表日 2026年 3月 9日

利用児童数

64名

回収数

24

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	3			・園庭やホール、体育館はとても環境が整っていると思う。 ・クラスの人数に対して保育室は狭く感じる。 ・欲を言えば、各教室もう少し広いといいなと感じたことがあります。	・保育プログラムを工夫し、空き保育室などを利用することで手狭さに対応してまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	19	4	1		・足りてないと思う場面もあると感じます。 ・状況によってもっと先生がいらっしゃるといいなとおもったことはありません。 ・クラスによって職員の目が行き届かず、子ども同士のトラブルが発生しやすいかと思いました。	・各種媒体での募集や養成学校への定期訪問等により、職員募集を継続的に努めております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	5			・情報の見える化して配慮している。 ・物が多く、気が逸れてしまうように思う。 ・活動は視覚化されているが、玩具については改善必要に感じる。	・備品に関しては、随時更新に努めて参ります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	6		1	・清潔には配慮されているが、いかにせん設備が古い。 ・夏の空調が少し寒い。 ・設備の古さを感じる。 ・以前よりお手洗いのにおいが軽減した。	清掃・消毒などには細心の注意を回り、安全安心な施設空間の保持に努めます。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	1	1	1	・作業療法士が長く不在な点。 ・正直なところ、先生によって違うと思うことがある。若い方でもベテランの先生方でも対応力はいつも感心してしまいます。	・各種媒体で職員の募集をしております。 ・研修や他施設研修等を通じて職員の技量・知識の平均的獲得に今後も努めてまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	3		2		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22	1			・こちらの要望は組み込んでもらえますが、専門的な提案はないように感じます。 ・クラス担任の先生方がよく見てくださっていること、いつも感謝しています。	・研修や他施設研修等を通じて職員の技量・知識の獲得に努めてまいります。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22				1	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23				1	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20				2	・運動会、クリスマスなど同じ催しの中でも年度ごとに内容が変わるなど工夫があります。 ・さまざまな活動内容があり、子どもが飽きないようにしてくれている。 ・今必要なこと、これから先必要なことを活動を通して教えてくださってありがたいです。
11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	3	13	3		・子どものクラスでは機会はないが、まだ必要ないと感じている。	・コロナ以降、保育所等との交流は個人交流のみとなっている中、今年度は地域の「公園体操」に参加をしました。引き続き、地域との交流の機会を創出してまいります。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21	1			1		

保護者への説明等	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	23				・年度ごとにほぼ同じ内容なので、年長になってくると以前聞いたなと感じます。	・内容等見直しながら、よりよい研修会を実施してまいります。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	23					・先生によって差があると思いますが、会うと必ず出来事など詳しく話して下さる先生には感謝をしています。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	1		1			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	1	2		・職員によります。アドバイスを下る方もいれば、軽視される方もいます。 ・親の努力をスルーされ、寄り添ってもらえなかった時（一方的に園の成果のように言われると）孤独感やむなしさを感じます。逆に些細な事でもキャッチしてくれ、労りの言葉を自然とかけて下さる先生方からは救われる気持ちにさせてもらえ、さらに感謝をしています。	・傾聴を心掛け、保護者の方々とともに支援に取り組む姿勢を忘れずに支援して参ります。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	4	3	5	・イベント等のおかげで交流の機会がありますが、それを目的として開催されるわけではないと感じます。 ・保護者同士は自ら機会を作らないとあまり交流することがないのできっかけとなるイベント的なことがあるとよい。	・2月に保護者交流を目的とした「シャッフルボード大会」を開催しました。次年度も、交流できるような機会を設けていきたいと思っています。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	1		1			
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	2			・連絡帳という手段はありますが、長らく返事がないことがありました。（お伝えすると改善がありました）	・すぐにお返事を返すように改善に努めます。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	18	5		1			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	2		1	・提出したものがうまく届いていないことがあった。	・職員間で間違いが無いように確認してまいります。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	1		1	・東日本大震災のような想定外がありうる時、最上階以外の避難等もあって欲しい。	・近隣への避難訓練も検討してまいります。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20			1			
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	2		3	・公園への散歩のとき、先生の数に足りていないのではという場面があり怖かった。	事前に安全に散歩に行ける状態を確認し職員の人員配置を行なってまいります。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	1		2	・すぐく小さなケガについてはあと報告でもよい。逆に電話がかかってくるとどんなケガをしたのか不安になります。 ・激しい遊びをした後にケガ等の声かけやチェックがあると安心。	・支援においては最新の注意を払いながら、ケガ等がないか細やかに確認してまいります。	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	22	1			・親がいる時、いない時の職員から子への態度や対応に変化が全くないといえるか少し心配です。	適切な支援を心掛けております。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	22		1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	22		1		・いつもありがとうございます。 ・いつも支援をありがとうございます。日々忙しい中ご協力に感謝します。一方で昨年度から今年度で先生の入れ替わりが多く、療育的な関わりの経験と知識が不足していると感じることがあります。	・今年度は、定期的にコンサルテーションの先生方に入っていただき、職員の支援力向上に努めてまいりました。今後、研修等を通して職員の技量、知識を得られるようにしてまいります。	